



いつも自宅からお店に通う横道に  
同級生の家があります。  
その家に立つ、大きなミモザの木。

毎年キレイな黄色い花をたくさん咲かせ  
桜の花が散ってしまった寂しさを慰めるように  
春の訪れを優しく教えてくれました。

その木が、区画整理のため、伐採されることを  
同級生の両親が教えてくれました。

驚きと共に、湧いてくる寂しさ。  
それからは、通る度にまだ、そこにあることを  
確認し、安心する日々。

そして、ある日突然  
その木はいなくなっていました。

いつも、そこにあると思っていた風景がある日  
突然無くなってしまう悲しさ、寂しさを  
感じる一年となりました。

当たり前の風景は  
いつもそこにあることが当たり前ではなく  
かけがえのないことだと。

お客様がお店に来て下さり  
そして、私たちは美味しい料理を作り  
心からおもてなしをすること。  
そんな風景が、つい何年か前は  
当たり前ではなかったこともあったはずなのに。

日常を取り戻す中で忘れてしまいがちなことを、  
ミモザの木が戒め、教えてくれた気がしています。

何気ない風景も、  
当たり前だと思っている日常も  
大切に過ごしていきたいと思っております。

2024年が、皆様にとって  
かけがえのない一年になりますように。

Restaurant La table au japon